研究所だより

第４９１号
２０２５年１１月１４日
発行：土佐清水市教育研究所
ＴＥＬ　８２－３０１５

“ 秋の夕日に照る山もみじ
　　濃いも薄いも数ある中に
　　松をいろどる楓（かえで）や蔦（つた）は
　　山のふもとの裾模様（すそもよう） ”

『 紅葉（もみじ） 』　1911年（明治44年）　童謡・唱歌

～ 晩秋 ～

暦の上では「立冬」、「小雪」と季節は冬に移り変わっていきます。「立冬」とは、冬が始まる頃。木枯らしが吹き、木々の葉が落ち、山では初冠雪の便りが届く頃です。「小雪」とは、雪が降り始める頃。まだ、積もるほど降らないことから、小雪といわれたようです。また、野山では木々がほんのり色づき始め、色鮮やかな紅葉が見頃となってきます。紅葉狩りを愉しむのも一つの手ですね。

これから冷え込みが厳しくなるとインフルエンザの流行が心配になります。12日には「高知県内がインフルエンザの流行期に入った」と発表がありました。今後感染拡大が予測されますので、基本的な感染防止対策（マスク、手洗い、うがい、換気、人混み回避）など健康管理に留意しながら過ごしましょう。

・・・

＜第75次土佐清水市教育研究集会・半日教研＞

11月　5日（水）に半日教研が開催されました。それぞれの部会で公開授業・研究協議や講師を招聘しての研修、実践交流等ができたものと思われます。

各部会の研修（公開授業・研究協議等）の様子を紹介します。

（1）〔探究的な学び部会〕

・公開授業：清水小4－1　国語　「ごんぎつね」

授業者　川村　碧人先生

・講話　「『問い』を持たせるための学習指導の在り方」

講師　　幾田　伸司教授（鳴門教育大学）

（2）〔ふるさと教育部会〕

・ジオ学習

講師　土井　恵治さん（ジオパーク推進協議会）

【講話と竜串海岸等現地学習】

・実践発表交流（清水小、三崎小）、情報交換等

（3）〔なかまづくり部会〕

・各校の実践交流と質疑応答

・情報交換

（4）〔教育DX部会〕

・10/15（水）研究授業についての協議

清水中1－2　英語　New Horizon English Course

Unit 5 My brother in Hawaii

授業者　志村　留美先生

「生成AIを活用しながら、表現力を高める授業」

・実践交流、情報交換等

（5）〔養護部会〕

・保健調査票、結核問診票の見直し

・肥満指導について

・情報交換

（6）〔事務部会〕

・学校事務冊子の研究発表

・防災に関する事務研究等

＝研究協力校の取組（防災教育）＝

10月27日（月）三崎小学校で慶應義塾大学の大木聖子准教授をお招きし、全校児童、保護者、関係機関のみなさんが参加して防災講演会が開催されました。

今回は、防災学習の中でも風水害にポイントを置いたものでした。大木先生が、「10月のある日、けんくんは、おばあちゃんと2人きりで自宅に居ました。他の家族はみんな出かけています。昼過ぎから雨が降り始めました。自宅のけんくんとおばあちゃんが外の様子を伺っています」。16時、テレビに「『警戒レベル3』と流れます。自宅に居るけんくんになりきり『避難するかしないか』を判断し、意思表示をしてください」と問いかけました。

意思表示：【避難する】　「レベル3からもっと上がると逃げられなくなる」など
【避難しない】「レベル3だから大丈夫だと思った」など

その後、大木先生は、気象や外の状況等の変化を2時間ごとに提示していきました。18時、20時と時間の経過とともに外の状況等も変化していきます。この時点でも「避難の有無について」問いかけました。

意思表示：【避難する】　「雨の状況を見て避難した」、「避難している人がいたから」など
【避難しない】「危険と思い救助を待つ方がいいと思った」、「レベル3のままだから」など

22時に「警戒レベル4」が発令されました。同じくけんくんになりきり「避難するかしないか」を問いかけました。

意思表示：【避難する】　「レベル4になり、家に泥水が入ってきたら逃げられなくなる」など
【避難しない】「外も暗くなり危険なので家にいた方が安全だから」
「おばあちゃんがいるから危険なので逃げられない」など

子どもたちは、それぞれの状況を見て判断しました。そして、その理由もしっかり発表することができていました。

まとめとして、「レベル3の状況で避難するかを判断する。ハザードマップを確認してくだい」と投げかけて終わりました。

【警戒レベル3】：避難準備　　高齢者等避難開始
【警戒レベル4】：避難指示　　地域住民全員が危険な場所から避難する